



Aidexer presented by DNA

管理者マニュアル

2009年09月11日

株式会社 ジンテック

## 目次

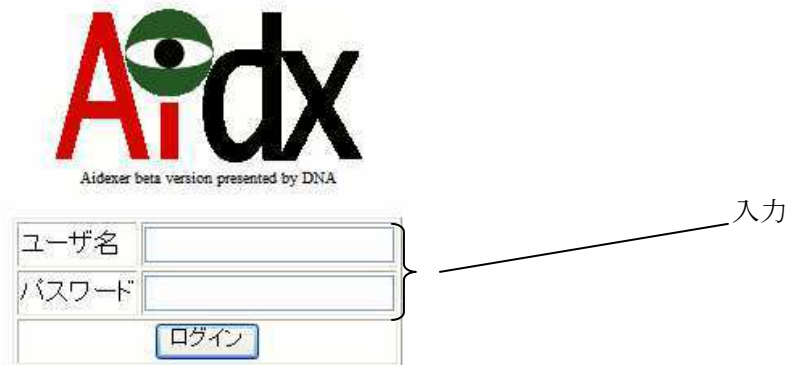
1. ログイン	3
2. セットアップメニュー	3
3. インデックス生成に使うユーザーの設定	5
3-1 インデックス生成に使うユーザの設定	6
3-2 インデックス生成対象ディレクトリ設定	7
3-2-1 インデックス生成対象ディレクトリの追加	7
3-2-2 インデックス生成対象ディレクトリの削除	11
3-2-3 インデックス生成対象ディレクトリの変更	11
3-3 検索/管理ユーザーの設定	12
3-3-1 新規ユーザーの追加/既存ユーザーの削除	12
3-3-2 ユーザーの設定変更	13
3-3-2 (1) ユーザーの設定変更 (1) パスワード変更	13
3-3-2 (2) ユーザーの設定変更 (2) 管理者権限付与	14
3-3-2 (3) ユーザーの設定変更 (3) 検索可能ディレクトリに追加	15
3-4 インデックス手動生成開始	16
4. インデックス生成スケジュール設定	17
5. IP アドレスの設定	18
5-1 新しい設定の入力	18
5-2 新しい設定の確認	19
5-3 設定変更実施後の表示	19
6. メール通知機能設定	20
6-1 メール送信元ホスト名の変更	21
6-2 送信元アドレスの変更	22
7. ログのダウンロード	23
8. シャットダウン/再起動の実行	24
8-1 シャットダウンの実行	24
8-2 シャットダウンの実行	25
9. ファームウェアの更新	26

## 1. ログイン

Aidx の IP アドレスに IE を使ってアクセスしてください。

(例) <http://192.168.1.77>

ログイン画面が表示されます。管理者のユーザー名/パスワードを入力してログインをクリックします。

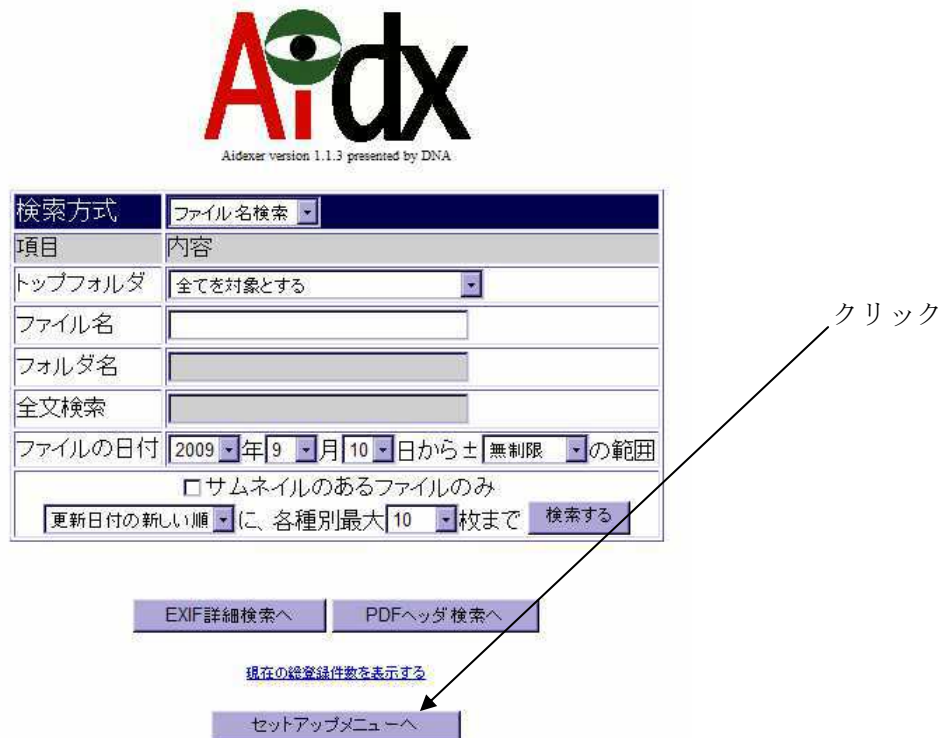


The image shows the login page for Aidx. At the top is the Aidx logo with the text "Aidxer beta version presented by DNA" below it. Below the logo is a login form with two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). A "ログイン" (Login) button is located below the password field. A bracket on the right side of the form is labeled "入力" (Input).

ログイン後、下画面が表示されます。

## 2. セットアップメニュー

「セットアップメニューへ」をクリックしてください。



The image shows the main interface of Aidx. At the top is the Aidx logo with the text "Aidxer version 1.1.3 presented by DNA" below it. Below the logo is a search form with the following fields:

検索方式	ファイル名検索
項目	内容
トップフォルダ	全てを対象とする
ファイル名	
フォルダ名	
全文検索	
ファイルの日付	2009年9月10日から ± 無制限 の範囲
<input type="checkbox"/> サムネイルのあるファイルのみ	
更新日付の新しい順 に、各種別最大 10 枚まで	
検索する	

Below the search form are two buttons: "EXIF詳細検索へ" and "PDFヘッダ検索へ". Below these buttons is a link: "現在の総登録件数を表示する". At the bottom is a button: "セットアップメニューへ". An arrow labeled "クリック" (Click) points to the "セットアップメニューへ" button.

以下のような「セットアップメニュー」が表示されます。



実行したい項目の「Go」ボタンを押すと、それぞれの項目に進むことができます。

### 3. インデックス生成に使うユーザーの設定

「インデックス生成元の設定」では、当初以下のような画面が表示されます。

SETUP - Windows Internet Explorer  
http://192.168.1.130/setup.php

Aidx  
Aidx version 1.1.3 presented by DNA

インデックス生成に使うユーザーの設定 (\*変更時要注意)

ユーザー名: testadmin  
パスワード:  
パスワード(再入力):  
変更実行

インデックス生成対象ディレクトリ設定

追加

新規登録ディレクトリ  
(\*例 \\192.168.100.100\public) 追加

検索/管理ユーザーの設定

追加

新規登録ユーザー  
ユーザー名:  
パスワード:  
パスワード(再入力): 追加

セットアップメニューに戻る

インデックス手動生成開始

この画面では、大きく分けて3種類の設定を行います。

#### 1. インデックス生成に使うユーザの設定

Aidx は、インデックス生成のためにファイルサーバの複数のディレクトリを巡回します。その際、全てのディレクトリに対して、同一のアカウント/パスワードでアクセスします。そのアカウント/パスワードの設定を行うものです。

#### 2. インデックス生成対象ディレクトリ設定

Aidx が、どのファイルサーバのどのディレクトリに対してインデックス生成を行うかを設定します。

#### 3. 検索/管理ユーザの設定

検索や管理を出来るユーザの、追加/削除/パスワード変更を行います。また、だれが、どのディレクトリに対して検索する権限を持つかを設定します。また、そのユーザに管理者権限を与えるか否かの設定もここでを行います。

#### 4. インデックス手動生成開始

### 3-1 インデックス生成に使うユーザの設定

ファイルサーバ側の設定で、インデックスを生成したい全ての共有ディレクトリに対して、Read 権限以上を持つアカウントを作成してください。既にそういうアカウントがあれば、そのアカウントを使うことも可能です。

インデックス生成に使うユーザーの設定 (\*変更時要注意)

ユーザ名: testadmin

パスワード:

パスワード(再入力):

変更実行

入力

クリック

そのアカウントの「ユーザ名」と「パスワード」(およびパスワードの再入力)を入力して、「変更実行」のボタンを押してください。

#### ※注意

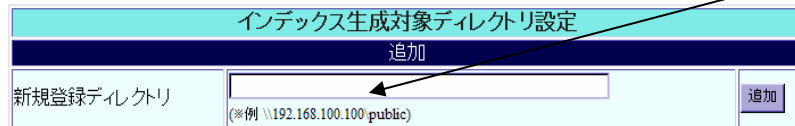
この部分の設定は、Aidx の運用開始の最初の 1 度しか使わないケースが多いと考えられます。もし、後からこれを変更する場合は、全てのインデックス生成対象が、変更後のアカウント/パスワードでアクセスできるように、ファイルサーバ側の設定変更を行う必要があります。

※ PDC を使いドメインで運用しているファイルサーバにおいては、ユーザ名の欄には、「ユーザ名@ドメイン名」の書式で入力を行ってください。

### 3-2 インデックス生成対象ディレクトリ設定

#### 3-2-1 インデックス生成対象ディレクトリの追加

この設定では、インデックス対象ディレクトリを1つ追加する毎に、1行ずつ表示が増える仕組みになっています。最初は何も設定されていないため、まず、新規登録ディレクトリの追加を行います



ファイルサーバ内のインデックス生成対象ディレクトリの Windows ファイル共有としての共有フォルダ名を入力します

共有フォルダ名をコピー&ペーストで楽に入力するための手法を簡単に例示します。

WindowsXP を使った場合の入力の例です。

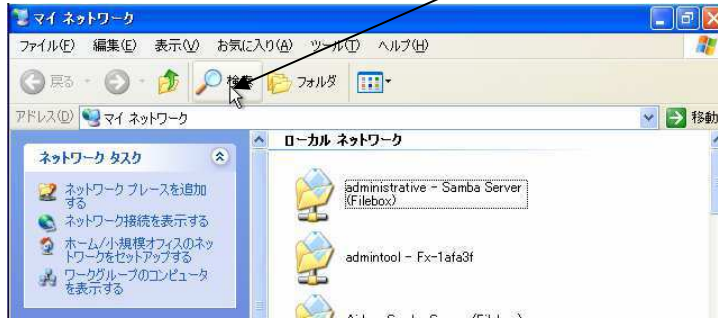
(※IP アドレス「192.168.1.2」のファイルサーバの「cgp」という共有フォルダをインデックス生成対象とする例)

[スタート]→[マイネットワーク]をクリックする



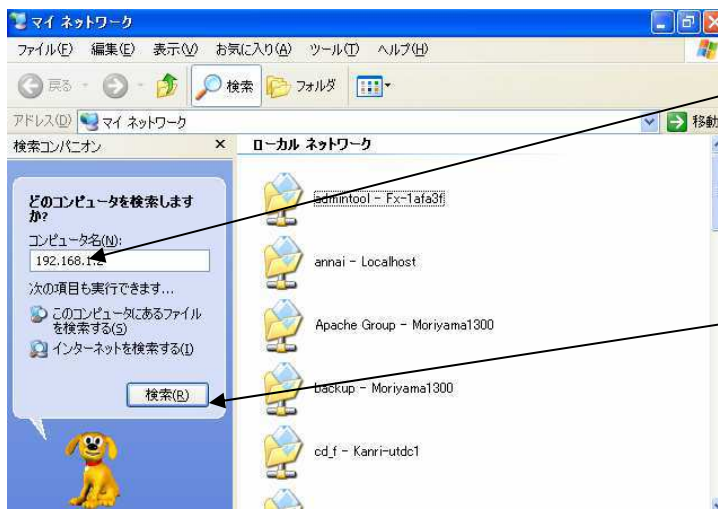
[検索]をクリックする

クリック



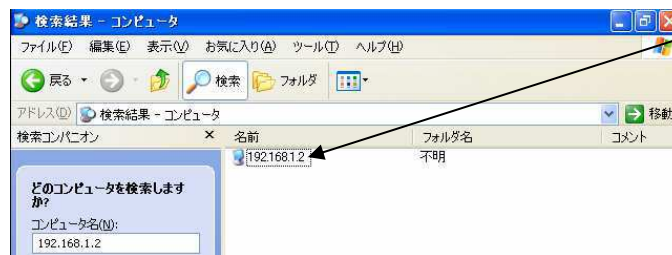
[コンピュータ名(N)]に「192.168.1.2」と入力して[検索(R)]をクリックする

入力



検索して見つかったコンピュータをクリックする

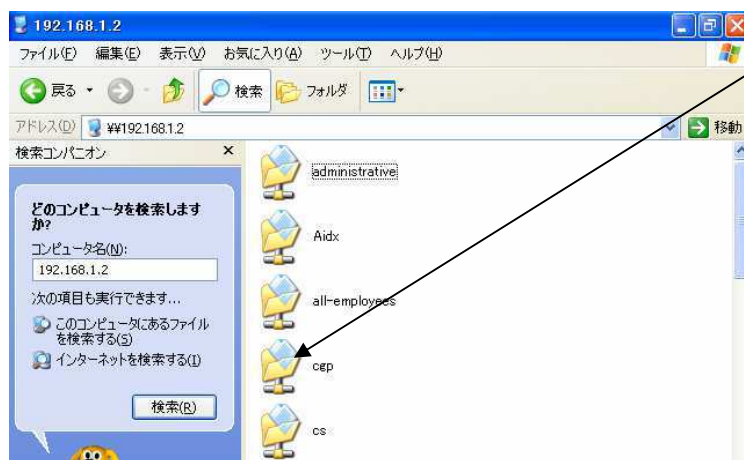
クリック



名前	フォルダ名	コメント
192.168.1.2	不明	

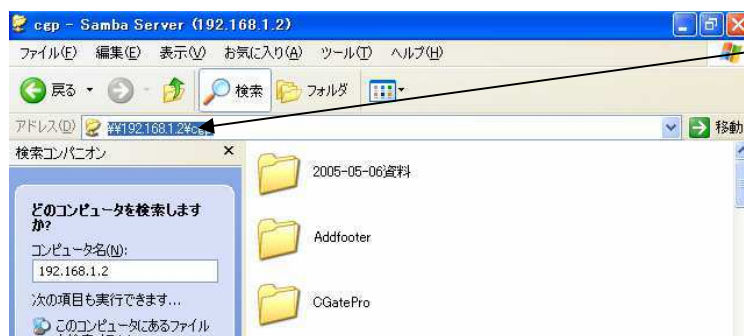


「cgp」フォルダをクリックする

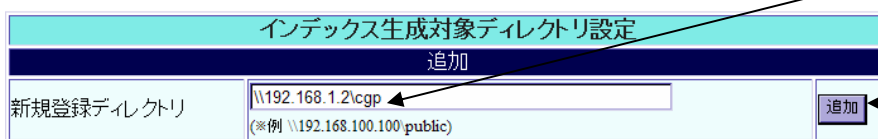


※ユーザ名/パスワードを求められる場合は入力してください

「アドレス(D)」の中で右クリックしてコピーする



「新規登録ディレクトリ」の所で右クリックして貼り付ける



¥が\置換されてに表示されますが、問題ありません。そして、追加ボタンを押します。(再確認も OK してください)

追加時には「インデックス生成に使うユーザーの設定」で指定されたユーザ名/パスワードを使って、実際にファイルサーバにアクセス可能か否かが検証され、可能であった場合のみ、追加が実施されます。

追加に成功すると、以下のように、現行に反映された表示が出ます。

インデックス生成対象ディレクトリ設定		
追加		
新規登録ディレクトリ	<input type="text" value=""/> <small>(※例 \\192.168.100.100\public)</small>	<input type="button" value="追加"/>
変更		
現行	変更内容	操作
\\192.168.1.2\cgp	<input type="text" value="\\192.168.1.2\cgp"/>	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

追加を実施した直後は、たとえ管理者でもそのディレクトリは検索対象に含まれていない状態となり、まだだれもそのディレクトリを検索することが出来ません。

検索／管理ユーザーの設定の項目を参照し、検索させたいユーザーに対して、「検索可能ディレクトリに追加」の操作を行ってください。

### 3-2-2 インデックス生成対象ディレクトリの削除

変更		
現行	変更内容	操作
\\192.168.1.2\all-employees	\\192.168.1.2\all-employees	変更 削除
\\192.168.1.2\utsunomiya-manager	\\192.168.1.2\utsunomiya-manager	変更 削除
\\192.168.1.2\tokyo-2008	\\192.168.1.2\tokyo-2008	変更 削除
\\192.168.1.2\tokyo-all-employees	\\192.168.1.2\tokyo-all-employees	変更 削除
\\192.168.1.2\sales	\\192.168.1.2\sales	変更 削除
\\192.168.1.2\cs	\\192.168.1.2\cs	変更 削除
\\192.168.1.2\development	\\192.168.1.2\development	変更 削除
\\192.168.1.2\Aidx	\\192.168.1.2\Aidx	変更 削除

削除ボタン①を押すと以下のような確認画面が出ます。



#### セットアップ 削除確認

「\\192.168.1.2\Aidx」をインデックス生成対象から削除します。

このディレクトリ内部にあったすべてのファイルに関するインデックスデータがデータベースから削除されますので、検索にヒットしなくなります。

(※ファイルそのものが削除されるわけではありません)

よろしいですか？

OK

OKしないで戻る

ここで、OKを押すと、データベース上の全てのインデックス、サムネイル情報、及び全文検索インデックスが削除され、以後の巡回対象から外れます。ここを検索対象にしていたユーザの側の設定も、自動的に検索対象から外れます。

もし間違えて削除ボタンを押した場合は、「OK しないで戻る」を押せば削除は実行されません。

### 3-2-3 インデックス生成対象ディレクトリの変更

②ボタンの「変更」は、登録直後、まだ一度もインデックスを作成しに巡回していない状況で、パスの間違いに気付いたときのみ意味を持つボタンです。

インデックスが既に作成された後で、ディレクトリ名が変わった時などに実行しても、結局は全面作り直しになるだけですので、そういう場合は、削除して再登録の方が有効です。

### 3-3 検索/管理ユーザーの設定

#### 3-3-1 新規ユーザーの追加/既存ユーザーの削除

ユーザーを追加したいときは、以下の画面に「ユーザ名」と「パスワード」、及び確認のための「パスワード（再入力）」を記入して、「追加」ボタンを押してください。

検索/管理ユーザーの設定	
追加	
新規登録ユーザー	ユーザ名: <input type="text"/>
	パスワード: <input type="password"/>
	パスワード(再入力): <input type="password"/>
	<input type="button" value="追加"/>

確認画面が出ますので、「OK」を押すとユーザの追加が実行されます。



ユーザー「test2」を追加します。

よろしいですか？

クリック

既存のユーザを削除したい場合は、「削除」ボタンを押してください。

変更		
ユーザ名	検索可能ディレクトリ	操作
admin (管理者ユーザー)	\\192.168.1.2\cgp \\192.168.1.2\cs \\192.168.1.2\kanri \\192.168.1.2\development \\192.168.1.2\all-employees	<input type="button" value="変更"/>
test2	検索可能ディレクトリなし	<input type="button" value="変更"/> <input type="button" value="削除"/>

確認画面が出ますので、「OK」を押すとユーザの削除が実行されます。



ユーザー「test2」を削除します。

よろしいですか？

クリック

### 3-3-2 ユーザーの設定変更

変更		
ユーザ名	検索可能ディレクトリ	操作
admin (管理者ユーザー)	\\192.168.1.2\cgp	変更
	\\192.168.1.2\cs	
	\\192.168.1.2\kanri	
	\\192.168.1.2\development	
	\\192.168.1.2\all-employees	
test2	検索可能ディレクトリなし	変更 削除

クリック

パスワードを変更したり、管理者権限を付与したり、検索可能なディレクトリを設定したりするためには、そのユーザの「変更」ボタンをクリックしてください。

ユーザーの「変更」ボタンを押すと以下のような画面が出ます。

#### 3-3-2 (1) ユーザーの設定変更 (1) パスワード変更

ユーザー「test2」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="text"/> パスワード(再入力): <input type="text"/>	パスワードの変更
管理者権限	管理者権限なし	管理者権限付与
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cgp	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\cs	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\kanri	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\development	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\all-employees	←検索可能ディレクトリに追加

入力

クリック

ユーザーのパスワードを変更するには、パスワード、およびパスワード（再入力）に新しいパスワードを入力して、「パスワードの変更」ボタンを押してください。



ユーザー「test2」のパスワードを変更します。

よろしいですか？

OK

OKしないで戻る

クリック

上記のような確認画面が出ますので、「OK」を押すパスワードが変更されます。

### 3-3-2 (2) ユーザーの設定変更 (2) 管理者権限付与

ユーザー「test2」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="text"/> パスワード(再入力): <input type="text"/>	パスワードの変更
管理者権限	管理者権限なし	管理者権限付与
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cgp	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\cs	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\kanri	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\development	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\all-employees	←検索可能ディレクトリに追加

クリック

ユーザーに管理者権限を付与するには、「管理者権限付与」をクリックしてください。



上記のような確認画面が出ますので、「OK」を押す管理者権限が付与されます。

ユーザーの管理者権限を停止するには、「管理者権限停止」をクリックしてください。

ユーザー「test2」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="text"/> パスワード(再入力): <input type="text"/>	パスワードの変更
管理者権限	管理者権限あり	管理者権限停止
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cgp	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\cs	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\kanri	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\development	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\all-employees	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\Aidex	←検索可能ディレクトリに追加

クリック

確認画面が出ますので「OK」を押すと管理者権限が停止されます。

### 3-3-2 (3) ユーザーの設定変更 (3) 検索可能ディレクトリに追加

ユーザー「test2」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="text"/> パスワード(再入力): <input type="text"/>	パスワードの変更
管理者権限	管理者権限なし	管理者権限付与
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cgp	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\cs	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\kanri	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\development	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\all-employees	←検索可能ディレクトリに追加

クリック

検索を可能にしたいディレクトリの「検索可能ディレクトリに追加」をクリックしてください。



ユーザー「test2」の検索対象ディレクトリに「\\192.168.1.2\cgp」を追加します。

よろしいですか？

OK

OKしないで戻る

クリック

確認画面が出ますので、「OK」を押せば追加が実行されます。

検索可能ディレクトリからの除外をする場合は、「検索可能ディレクトリから除外」ボタンを押してください。

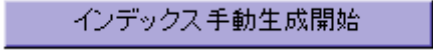
ユーザー「test2」の変更		
パスワード	パスワード: <input type="text"/> パスワード(再入力): <input type="text"/>	パスワードの変更
管理者権限	管理者権限なし	管理者権限付与
検索可能ディレクトリから除外	\\192.168.1.2\cgp	←検索可能ディレクトリから除外
検索可能ディレクトリに追加	\\192.168.1.2\cs	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\kanri	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\development	←検索可能ディレクトリに追加
	\\192.168.1.2\all-employees	←検索可能ディレクトリに追加

クリック

確認画面が出ますので「OK」を押すと除外が実行されます。

### 3-4 インデックス手動生成開始

「インデックスの生成元の設定」画面の下の方に、以下のようなボタンがあります。



このボタンは、既にインデックス生成実行中である場合は表示されません。

何らかの必要に迫られ、直ちにインデックスを作り直したい場合に、このボタンを押してください。

インデックス生成中は、社内ネットワークに多少の負荷をかけることと、Aidx 自身の反応速度が多少低下することがありますので、運用中にこのボタンを使うのは避けることが望ましいです。



## 4. インデックス生成スケジュール設定

「インデックス生成スケジュール設定」では、以下のような画面が表示されます。



インデックス生成は、ここで指定された曜日・時刻に実行されます。

インデックス生成時には、社内ネットワークを使って、ファイルサーバ上の検索対象の全ディレクトリ内を、全て見て回ることになります。

前回と更新日付に変化がないファイルであれば、中身を調べたりサムネイルを作ったりはしませんが、それでも、ファイル日付やサイズを調べるだけでも、多数のファイル数に連続アクセスすることになりますので、ネットワークの負荷がそれなりに高まることは確かです。

設定は、週末の夜にするのがお勧めです。規模の小さい状況であれば、毎曜日の夜に設定する方法もありますが、3日前に置いたファイルがどこに行ったか行方不明.. というケースは少ないと思われることも含め、週に1回のインデックス生成で、最新ファイルの存在を検知するのが妥当と考えます。

使用法は、選択肢をご希望の内容に選んだ上で、「実行する」ボタンを押せば OK です。

## 5. IP アドレスの設定

### 5-1 新しい設定の入力

セットアップメニューで、「IP アドレスの設定」の「Go」ボタンを押すと、以下のような画面が現れます。

現在の設定	
IPアドレス	192.168.1.130
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNSサーバ	192.168.1.1

新しい設定	
IPアドレスを自動的に取得	有効にする <input type="checkbox"/>
新しいIPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="130"/>
新しいサブネットマスク	<input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="0"/>
新しいデフォルトゲートウェイ(※注)	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
DNSサーバのIPアドレス(※注)	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>

(※注 メール通知機能を使わない場合は空白でも構いません)

新しい設定に変更する

セットアップメニューに戻る

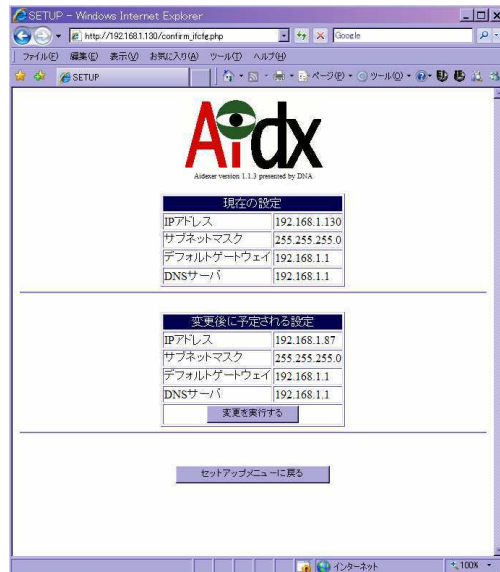
IP アドレスの設定画面では、上段に現在の設定内容が表示され、下段に、これから変更したい設定を入力できる欄が表示されます。

IP アドレスを自動的に取得する場合は、他の欄を全て空白にすることができます。固定IPで運用する場合、IP アドレス/サブネットマスクは、必ず正しく設定する必要があります。変更時は、利用可能な設定内容になることを良くお確かめの上で「新しい設定に変更する」のボタンを押してください。

なお、外部のメールサーバにエラー通知のメールを送りたい場合は、デフォルトゲートウェイと、DNSサーバのIPアドレスを指定する必要があります。IPアドレスを自動的に取得する場合は、デフォルトゲートウェイやDNSサーバのIPアドレスも自動取得出来ます。(※DNSサーバは自動ではなく指定されたものを使うことも出来ます)  
良くお確かめの上、間違わないように設定してから、新しい設定に変更する」のボタンを押してください。

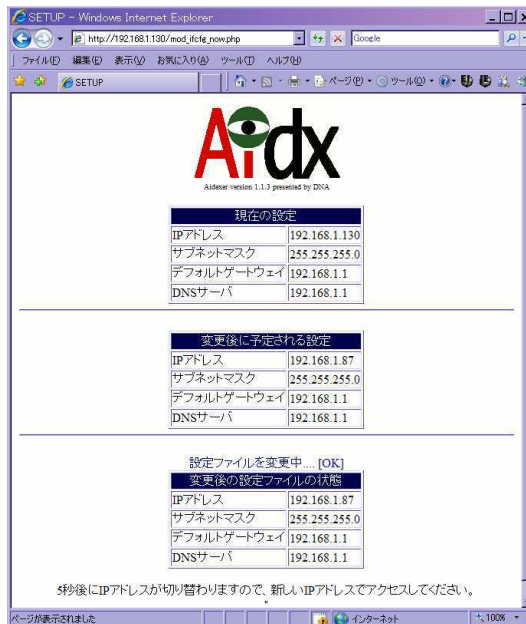
## 5-2 新しい設定の確認

「新しい設定に変更する」ボタンを押すと、以下のような確認画面が現れます。



内容に、問題がないと確認できたら「変更を実行する」ボタンを押してください。以下のような画面が表示され、設定内容が反映されます。

## 5-3 設定変更実施後の表示



IP アドレスを変更した場合は、数秒後には、新しい IP アドレスを使ってアクセスしないとページを表示できなくなっていますので、ご注意ください。

## 6. メール通知機能設定

セットアップメニューで、「メール通知機能設定」の「Go」ボタンを押すと、以下のような画面が現れます。

このページでは、メールの送信元のホスト名と、通知の種別ごとの送信先を指定できるようになっています。

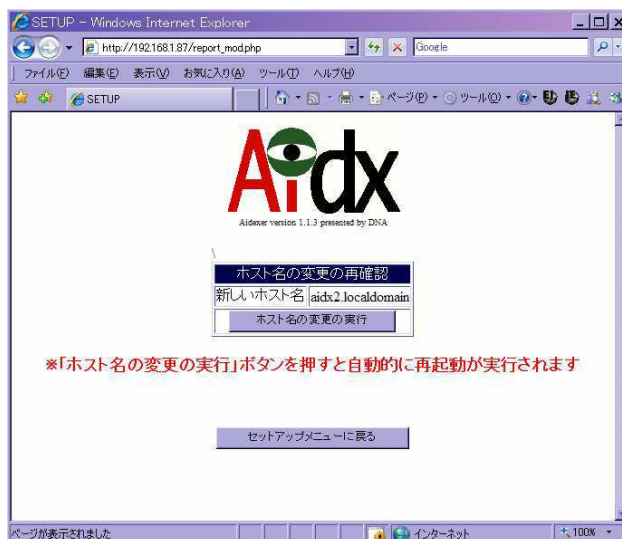
## 6-1 メール送信元ホスト名の変更

標準出荷時は「aidx.localdomain」という名前になっています。

メールの送信元は、「root@aidx.localdomain」となります。

変更したい場合は 「ホスト名の変更」 ボタンを押してください。

ホスト名の変更時は再起動が必要になりますので、以下のな再確認画面が出ます。



ホスト名の変更時は再起動が必要になりますので、以下のな再確認画面が出ます。

「ホスト名の変更の実行」ボタンを押すと、以下のような画面になり、再起動が実行されます。



再起動が終わると起動を示す音楽が鳴ります。

ホスト名変更を行った場合で、Aidx 内部にエラー通知を送信している場合は、送信先アドレスの変更も行ってください。

## 6-2 送信元アドレスの変更



Aidx では、「障害通知」「警告通知」「一般通知」の3つのレベルで、メールによる通知先のアドレスを変えることができます。

**障害通知：**システム運用に障害が出るような問題を検出した場合に通知されます。

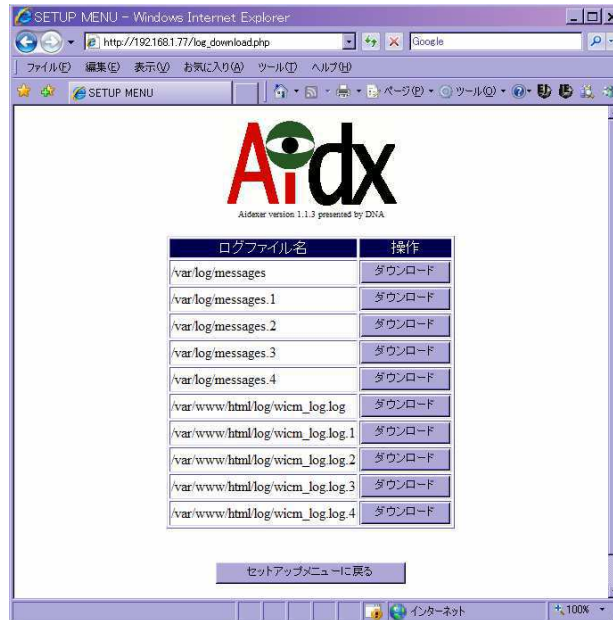
**警告通知：**インデックス生成元のコンピュータの電源が入っていないなど、インデックス生成に失敗はしたものの、次回のインデックス生成で問題がなくなるであろう場合などのように、運用全体には支障を来さない失敗を検知した場合に通知されます

**一般通知：**予定通りインデックス生成が成功した場合などに通知されます。

それぞれ、複数のメールアドレスに送ることが出来ますが、その際は「,」（カンマ）で繋いでメールアドレスを記述してください。

## 7. ログのダウンロード

セットアップメニューで、「ログのダウンロード」の「Go」ボタンを押すと、以下のような画面が現れます。



Aidx では、システム的なログを/var/log/messages に出力し、インデックス作成のログは、/var/www/html/log/の内部に出力します。

それぞれ、標準で4世代のログローテーションを行います。

「ダウンロード」ボタンを押すと、以下のようなポップアップが出ますので、適切な場所に保存してください。





## 8. シャットダウン／再起動の実行

セットアップメニューで、「シャットダウン／再起動の実行」の「Go」ボタンを押すと、以下のような画面が現れます。



### 8-1 シャットダウンの実行

シャットダウン／再起動の実行の画面で、「シャットダウンを実行する」の「実行する」ボタンを押すと、以下のような再確認の画面が現れます。



ここで、「本当に実行する」を押すと、シャットダウンが実際に実行されます。



## 8-2 シャットダウンの実行

シャットダウン／再起動の実行の画面で、「再起動を実行する」の「実行する」ボタンを押すと、以下のような再確認の画面が現れます。



ここで、「本当に実行する」を押すと、再起動が実際に実行されます。実行時には、以下の画面が表示されます。



正常に再起動が終わると、案内放送のチャイムのような音楽が鳴りますので、その後、引き続き Web ユーザーインターフェースをご利用になれます。

## 9. ファームウェアの更新

セットアップメニューで、「ファームウェアの更新」の「Go」ボタンを押すと、以下のような画面が現れます。



「参照…」のボタンを押すと、以下のような表示が現れますので、別途提供されたアップデートファイル (updaterX.X.X.zip) を選択してください。



「アップデート」のボタンを押すと、ファームウェアの更新が行われて、以下のような表示が現れます。必要に応じて再起動を実行してください。

